

はじめに

本町は、神奈川県南西部大磯丘陵の西に位置し、豊富な地下水を有するとともに四季ごと映し出される富士山や相模湾、大山丹沢山塊との一体をなす里山景観を今も残す町で、近年は先端技術を持つ企業も数多く立地され、古くから伝わる伝統文化とも調和した町、「里都まちなかい」として発展してまいりました。

先人たちが暮らしの営みで私たちに残してくれた農地や山林は大切な財産であり、都市的空間とも調和した里地里山の豊かな自然環境・景観として、これからもより良い形で次世代へと残していくことは、ここに営みをする多くの人たちの責務であることから、町では中井町環境基本計画を平成21年3月に策定し、環境への取り組みを行い10年が経過しました。

この間には、平成23年3月に発生した東日本大震災による原発事故を契機に、省エネや、再生可能エネルギーによるエネルギーの地産地消化が進む一方で、社会経済活動や生活様式の変化は、地球温暖化の進行やPM2.5による大気汚染、マイクロプラスチックによる海洋汚染など、地球温暖化への対応等が求められ、加えて平成27年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標であるSDGsへの対応など、様々な場面で新たな取り組みが必要となっております。

こうした状況を踏まえ、町においても、平成29年度には中井町地球温暖化対策実行計画を策定し、町民、事業者、町それぞれが役割を担うことで、目標として定めた平成42(2030)年度までの温室効果ガス26%削減に向け取り組んでいるところです。

本計画においては、里山や水辺などの身近な環境から地球温暖化防止をはじめとした地球環境の保全までを、一人ひとりが自ら考え行動することで、より良い環境を未来へ繋いでいくことを目指した基本目標を定めました。

これらを実行するには、行政、町民、団体、事業所等が、日々の生活や事業活動における環境保全の取り組みに理解と連携・協力することが大変重要であり、それぞれが身近なところから行動していただくことを願っております。

結びに、本計画の策定にあたっては、熱心なご審議、ご討論をいただいた中井町環境審議会委員の方々をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただいた町民・事業者の皆様にご心からお礼申し上げます。



平成31年3月

中井町長

杉山 裕一